

第三者行為によるケガ・病気を、国保で治療を受けた場合は届出が必要です!

◇第三者行為によるケガ・病気とは

- 交通事故
- 他人の飼い犬にかまれた
- など他者にその原因があるものです。

◇治療費は…

通常、治療費は窓口負担以外の費用を健康保険で負担していますが、第三者行為による医療費に限り加害者が負担することが原則です。ただし、交通事故など双方に過失がある場合は、治療者の過失相当を保険で負担します。

◇安心してください

本来加害者が支払うべき治療費の負担を、治療を受ける人が立て替えることがないように、国民健康保険証を一時的に使用することができます。

国民健康保険（以下国保）は加害者に代わって、一時的に費用を立て替えますが、その費用は後から加害者に請求します。

◇示談が成立する前に連絡を

すでに相手方と示談が成立している場合、保険給付の適用ができない場合があります。**示談が成立する前に、ご連絡ください。**

◇届出はお早めに!

国保はみなさんの税金で保険給付を行っています。本来給付の必要のない第三者行為に対する給付を行うことは、みなさんの税の正しい使い方ではありません。届出はお早めをお願いします。

◇届出を行わないと…

第三者行為による治療と疑われる場合、世帯主へ届出勧奨の通知をします。届出を行わないと、医療費を全額請求させていただく場合がありますので、**通知を受けた際は、すみやかにご連絡ください。**



問い合わせ 市民生活課 保険年金係 ☎75-2159

自分の健診結果から生活を見直し健康を守りましょう

◎糖尿病って太っている人が発症する病気?

糖尿病=肥満と思われがちですが、実は太ってなくても血糖値が高くなる場合があります。平成29年度の特定健診では、肥満ではない人でも1割近くの人が糖尿病の疑いであると診断される検査結果でした。

H29年度 特定健診結果

健診結果	正常域		保健指導域		受診勧奨域		計
	HbA1c	5.5%以下	5.6~6.4%以下	6.5%~			
肥満あり	138人	17.8%	470人	60.7%	166人	21.4%	774人
肥満なし	353人	28.4%	769人	61.8%	123人	9.9%	1245人

※HbA1c…糖尿病を調べる検査項目

※肥満の有無の基準…BMI(体重[kg]÷身長[m]÷身長[m])=25以上 または 腹囲基準値(男性85cm・女性90cm)以上

◎太っていないのに血糖値が高いのはなぜ?

太っていないのに血糖値が高い=インスリンの出方が少ないタイプ ←

血糖値を下げるのはインスリンの働きによるものです。しかしこのインスリンですが、遺伝や老化が原因で、すい臓からインスリンが出にくくなる“インスリンの出方が少ないタイプ”があり、このタイプに該当する場合“太っていないのに血糖値が高い”と診断されるのです。

太ってなくてもバランスの取れた食事と適度な運動が糖尿病の治療の基本です。必要であればインスリンをうまく出すのを助ける内服薬やインスリン注射での治療もあります。

「太っていないから糖尿病は関係ない」と思っている人も、年に1度は特定健診を受けて血液検査で確認しましょう!

問い合わせ 健康増進課 健康増進係 ☎75-3355